

法人（事業所）理念		◎共感と笑顔でだれもが生きやすい未来をつくる ～多様な人々が互いの立場や感情を理解し（共感）、ポジティブなかかわり（笑顔）を通じてだれもが安心して暮らせる社会を築きます～							
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの『個』を尊重し、誰もが自分らしく希望をもって生活をし、社会参加ができるよう経験の場を提供します 一人ひとりの『特性』に合わせた支援と、子どもたちが自分で決める・選ぶ場面を大切にします 幼児期から学齢期、思春期と様々なステージにおいて家族支援と地域の社会資源と連携し支援を行います 							
営業時間		9 時	30 分から	18 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・迎え・・・自宅、保育所（園）、幼稚園 ・送り・・・自宅、保育所（園）、幼稚園
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ◎健康な心と身体を育み安全で安心な生活を支援します ・発達段階や特性に配慮し、日々の観察から支援へとつなげます ・基本的な生活習慣を形成し、生活リズムが整うよう支援します ・食に対する働きかけや排泄については、家庭と歩調を合わせながら無理なく進めていきます ・自分で理解し出来ることが増やせるよう、安全で安心できる環境を提供します 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ◎遊びや活動を通して様々な感覚が活用できるよう支援します ・様々な感覚刺激を体験することで、心身の緊張をほぐしたり、心理的・情緒的な安定を提供します ・感覚処理・空間認知などの向上のため、感覚を活用できる遊びや運動を提供します ・活動を通して各感覚系の機能をバランスよく刺激し、認知力、協調性、身体の使い方の向上と五感の活用・統合を促します 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ◎一人ひとりの特性を踏まえ、様々な刺激に対するの対処方法、こだわりなどに対する支援をします ・本人が抱える悩みや不安等に対する対応方法を学び、自分の感情と行動を紐づける練習をします ・見通しが持てるように視覚的な情報を提供します。また、活動の中身を明確にするなどして混乱を防いでいきます 							
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ◎言葉の意味を理解することで相手の言葉を理解する力を育み、自発的な意思疎通へとつなげていきます ・非言語的な表出を大切に自分で伝えようとする気持ちを受け止め、言語等の意思伝達につながるよう支援します ・活動の中に言葉を取り入れ言葉への関心を持つことで、会話でのやり取りができる楽しさを伝えていきます 							
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ◎地域で育むことを意識し、社会へ出た際に自分も社会の一員である事に自信を持ち、生活ができるよう支援します ・役割分担のある遊びや活動等を通じ、人間関係の基本や共感性を育む支援を行います ・できること・できたことを具体的に誉めることで、自己肯定感を育んでいきます 							
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ◎不安や悩みに寄り添い、育児負担を軽減し安定した親子関係をサポートします ・話を傾聴し、悩みに寄り添います ・専門的知識や情報提供、必要に応じて関係機関につなぐ役割を担います 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ◎ライフステージごとに切れ目なく、将来に向けた支援へとつなげていきます ・支援内容や課題などの情報を提供する事で、スムーズな移行を目指します（保育所・園、幼稚園～小学校）（児童発達支援～放課後等デイサービス） 		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ◎居住地域で可能な限り自立した生活が送れるよう支援します ・地域のイベントに参加します ・ボランティア等の受け入れをします ・児童発達支援事業所連絡会へ参加します ・学校や医療機関など地域の関係機関と連携します 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ◎内部、外部研修の充実を図ります ・内外研修への参加を奨励します ・OJTの強化や指導体制を整えてスキルの継承を行います 		
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ◎季節を感じる機会として、様々な余暇活動を提供します ・季節ごとの外出や屋外活動等 ・食育活動（調理体験・食習慣） ・地域のイベントへの参加 ・家族参加型イベントの開催（兄弟や保護者参加の活動等） 							